

関 係 各 位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
核融合科学研究所長 山田 弘 司
(公印省略)

特任研究員の公募について(依頼)

このたび、当研究所では下記の要領で特任研究員を公募いたします。
つきましては、関係各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募について、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1. 公募する職種及び人員

年俸制職員(特任研究員) 若干名
適格者がいない場合は採用しないことがある。

2. 業務内容

ムーンショット型研究開発事業目標10「2050年までに、フュージョンエネルギーの多面的な活用により、地球環境と調和し、資源制約から解放された活力ある社会を実現」の研究開発プロジェクト「超次元状態エンジニアリングによる未来予測型デジタルシステム」(MS10DS. <https://ms10ds.nifs.ac.jp/>)において、中核的デジタルシステム(ソフトウェア)の開発・応用に従事する人材を求める。当プロジェクトは、核融合科学のみならず、AI/データ駆動科学、プラズマ科学、物質科学、数理科学、高速計算技術などの分野横断型チームからなり、未来(次世代)の核融合炉や関連した先端的材料実験施設を、デジタル空間で開発(デザイン)することを目的としている。上記の分野横断型研究に意欲があれば、これまでの研究分野は問わない。ただし、Python、C、Fortranのいずれかを用いたプログラミング経験を有することが望ましい。

採用後は、炉工学における異種物性データの統合予測に関連した以下のいずれかの研究・開発業務に取り組む。具体的な研究内容については、応募者の適性と研究の進捗を踏まえ適宜見直すこととする。

(1) 既存データの収集・データベース基盤構築を行うとともに、第一原理計算により算出される材料パラメータ等も駆使した特性予測モデルの構築を推進し、核融合炉用高性能機能材料の探索を行う。

(2) 分子動力学シミュレーション等による放射線照射下での材料損傷過程解析と材料パラメータ収集、及び水素同位体蓄積量などを指標とした材料中物質移動現象の統合予測コードの共同開発を実施する。

(変更の範囲)

原則変更なし。ただし、核融合科学研究所に置く部署の業務に変更する場合がある。

3. 勤務地

(雇入れ直後) 核融合科学研究所(岐阜県土岐市下石町322-6)

(変更の範囲) 変更なし。

※ 一部リモートによる勤務も可能

4. 希望事項

(1) 博士の学位を有する者、又は着任までに取得見込みの者

(2) 上記研究内容に取り組む意欲のある者

(3) 業務上、必要となるため、日常会話程度の日本語能力を有する者(国籍は問わない)

5. 公募締め切り

随時選考を行い、採用枠が埋まった時点で受付を締め切ります。

6. 雇用期間

令和8年5月1日以降のなるべく早い時期から令和9年3月31日まで

(ただし、本プロジェクトが継続していることを条件に、業績評価及び研究計画等の状況により、更新する場合がある。なお、更新による雇用期間は最長令和12年3月31日まで)

7. 給与

年俸制を適用

(学歴・職歴等を考慮して決定し、年俸の1/12を毎月支給します。なお、1年毎に行う業績評価結果に基づき、年俸を改定することがある)

【例】博士学位取得後、満27歳の初任給 … 年額約600万円(月額約50万円)

※ 試算を希望する場合には、下記の問い合わせ先までお知らせください。

※ 自然科学研究機構の規程に基づき、その他諸手当の支給あり

8. 選考方法

選考は、核融合科学研究所 URA 職員等選考委員会において行います。

選考においては書類審査を行い、必要に応じて面接を実施する場合があります。

面接を実施する場合の詳細は、書類選考を通過した者へメールで連絡します。

9. 提出書類

次の(1)～(6)の書類を E-mail (E-mail アドレスは下記 10. 参照) に添付して提出すること。

(1) 履歴書：任意の様式による。可能な就任時期を明記すること。(写真添付、取得学位名を明記の上、連絡先に E-mail アドレスを記入すること。)

(2) 研究歴：任意の様式による。A4判 2ページ以内。

(3) 就任後の抱負：任意の様式による。A4判 2ページ以内。

(4) 研究業績リスト：和文と英文は別葉とすること。共著の論文については、共著者名をすべて記入し、それぞれの論文について、レフリーによる審査(査読)を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。

なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページ <https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/> に掲載)によること。

(5) 論文別刷：主要な論文(学位論文及び投稿中又は投稿予定を含む。)3編程度を添付すること。

(6) 参考意見を述べることができる方2名の連絡先：応募者について参考意見を述べることのできる方2名の氏名及び連絡先を記載すること。

上記の書類は、A4判横書きとし、それぞれ別葉の PDF ファイルとすること。

10. 書類送付先

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

nifs-jinji@nifs.ac.jp

メール件名を「特任研究員(ムーンショット田中PI)応募希望」とし、上記書類データを添付し E-mail で送付すること。E-mail 送信後、3営業日以内に受領確認のメールが届かない場合には、下記問い合わせ先まで連絡すること。

11. 問い合わせ先

(1) 提出書類について

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
電話 0572-58-2015 (直通)

(2) 研究内容等について

2. 業務内容のうち(1)に関する事

核融合科学研究所研究部超高流束協奏材料ユニット
教授 田中 照也
tanaka.teruya@nifs.ac.jp

2. 業務内容のうち(2)に関する事

核融合科学研究所研究部超高流束協奏材料ユニット
准教授 小林 真
kobayashi.makoto@nifs.ac.jp

12. その他

(1) 給与待遇は年俸制になります(年俸の12分の1を月額支給)。

(2) 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。また、自然科学研究機構では、研究者の多様性を高めることにより、教育研究の質の向上に取り組んでいます。

- ・ 当研究所は、ジェンダー、国籍、年齢、文化的背景を問わず優秀な研究者が集まる多様性豊かな研究環境を整備するため、ダイバーシティを考慮した研究グループ構成やその環境作りに積極的に取り組むことを基本方針としています。研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性と外国人を積極的に採用します。ただし、これは性別又は国籍のみで優先的に採用することを認めるものではありません。
- ・ 産前産後・育児・介護のための休暇・休業(育児部分休業、介護部分休業を含む。)の取得、または業務上もしくは通勤途上による傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には、履歴書等にその旨明記していただければ、業績を評価する際に考慮します。
- ・ 自然科学研究機構においては、若手研究者支援奨学金代理返還制度を設けています。制度の要件を満たし、承認された採用者については、日本学生支援機構による奨学金の代理返還を行います。

以上